

## 足元の投資環境と各戦略のパフォーマンスについて

本ファンドレポートでは、足元の投資環境や「みらいコネクトファンド」（以下、当ファンド）の運用状況について、アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（ARK）\*の見解などをもとにご紹介します。

\*当ファンドの主要投資対象ファンド（グローバル・イノベーション株式ファンド（適格機関投資家向け））の実質的な運用をおこなう日興アセットマネジメント アメリカズ・インクに対して投資助言をおこなっています。

### 足元の投資環境について

2021年以降、世界の株式市場は、インフレ懸念の高まりなどに伴ない米長期金利が上昇し、グロース株から景気敏感株などのバリュー株へ資金をシフトする動きが目立ちました。

2022年に入り、2021年12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨が公開されると、米金融政策の正常化が前倒しされるとの見方が広がり、米国債利回りが上昇し、株式市場ではグロース株などの高PER（株価収益率）銘柄を中心に売りが加速しました。その後も、FRB（米連邦準備制度理事会）理事や地区連銀総裁から金融引き締めに向けた前向きな発言が相次いだほか、1月26日のFOMC後のパウエルFRB議長の会見が想定よりもタカ派寄りであったことから、米国債利回りが急上昇したことなどを背景に、株式市場は急落しました。

また2月21日、ロシアのプーチン大統領は親ロシア派武装勢力が実効支配するウクライナ東部の一部地域について、独立を承認した上で、現地の平和維持を目的にロシア軍を派遣することを決めました。これを受け、欧米を中心にロシアに対する金融・経済制裁措置の導入に動きました。24日には、プーチン大統領がウクライナ東部への特別軍事作戦の実施を発表し、ウクライナの軍事施設などへの攻撃が開始されました。こうしたウクライナを巡る情勢の緊迫化を背景に、22日から24日にかけて、世界的に株式市場が大きく下落しました。一方、25日には、ウクライナ大統領からの交渉提案に対し、ロシア側は代表団を送る用意があると応じたことから、外交による緊張緩和への期待から、持ち直しの動きをみせました。

こうした中、当ファンド設定来で見ると、世界株式指数が+0.8%、米国のハイテク銘柄の比率が高いナスダック総合指数が-3.5%、米国の代表的な小型株指数であるラッセル2000指数が-7.6%となった一方で、当ファンドは-32.7%となりました。

図表1 「当ファンド」設定来の基準価額の推移および騰落率

（2021年7月13日（設定日）～2022年2月28日、日次）



※ 騰落率は費用や税金等を考慮していないため、実際の投資者利回りとは異なります。

※ 世界株式指数（MSCIワールド指数、配当込み、米ドルベース）、ナスダック総合指数（配当込み、米ドルベース）、ラッセル2000指数（配当込み、米ドルベース）はそれぞれ、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前々営業日の値を、前営業日の為替データで円換算して算出した値を、グラフ起点を10,000として指数化し掲載しています。また、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

（出所）ブルームバーグのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

<当資料の取扱いに関する留意事項> を必ずお読みください。

# みらいコネクトファンド

## 各戦略の足元の状況とパフォーマンスについて

当ファンドが投資対象とする各戦略のパフォーマンスは、「ゼロ・コンタクト戦略」が46.1%と大きく下落しました。証券会社のアナリストが弱気な見通しのレポートを出したことやプラットフォーム事業の責任者の退社などを受け、株価が下落した米TVストリーミングプラットフォーム企業のほか、米国のフルフィルメント（通信販売やオンライン販売サイトにおいて発生する受注・決済・配送などの一連の業務プロセス）・センター戦略などが嫌気され株価が下落したカナダのeコマース企業などがマイナスに寄与しました。

「フィンテック戦略」は、暗号資産関連銘柄が全般的に下落する中、同戦略の保有銘柄も連れ安となり、45.3%の大幅な下落となりました。

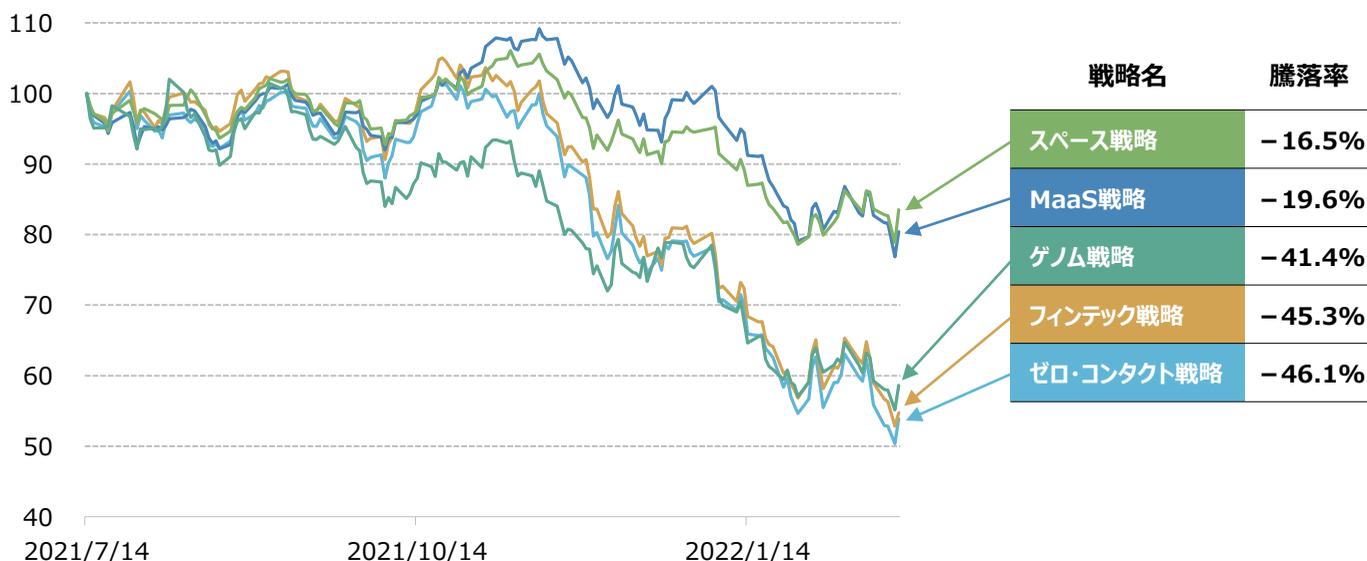
「ゲノム戦略」も、一部銘柄で発表された軟調な決算内容に加え、ステイホーム銘柄の全般的な下落に伴ない、米大手遠隔診療サービス企業が連れ安となったことなどを受け、41.4%の下落となりました。

このほか、「MaaS戦略」は19.6%の下落となりました。グロース株が総じて軟調となる中、同戦略の保有銘柄も連れ安となったほか、海外市場での売上減少が嫌気され株価が下落した中国の大手電動スクーター製造企業などがマイナスに寄与しました。

「スペース戦略」は16.5%の下落となりました。3Dプリンティング関連企業を含むグロース株やSPAC（特別買収目的会社）全体が下押し圧力にさらされ、3Dプリンティング関連企業やSPACとの合併を発表した企業などの株価が下落したことや、サプライチェーンのボトルネックや政府の意思決定をめぐる遅れを理由に2022年の業績見通しが下方修正され株価が下落した米国の無人小型機製造企業などがマイナスに寄与しました。

図表2 各戦略の価格推移および騰落率

（2021年7月14日～2022年2月25日、日次）



※ グラフ期間の起点は当ファンドの主要投資対象ファンドの設定日

※ 各戦略はグラフ起点を100として指数化しています。

※ 上記は当ファンドの主要投資対象ファンドが投資する各マザーファンド（以下のとおり）のパフォーマンス等をご参考として掲載したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。ゼロ・コンタクト戦略：グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド、フィンテック戦略：グローバル・フィンテック株式マザーファンド、MaaS戦略：グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド、ゲノム戦略：グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド、スペース戦略：グローバル・スペース株式マザーファンド

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

（出所）日興アセットマネジメントのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

## みらいコネクトファンド

ご参考：各戦略の銘柄別パフォーマンス寄与度分析①（7月13日（設定日）-2月8日）

## 【フィンテック戦略】

寄与度上位5銘柄	
銘柄名	寄与度
ディスカバリー	+0.55%
インターコンチネンタル・エクスチェンジ	+0.24%
ビルドットコム・ホールディングス	+0.21%
インテュイット	+0.15%
アルファベット	+0.04%

寄与度下位5銘柄	
銘柄名	寄与度
ブロック	-4.55%
ショッピファイ	-3.28%
トゥイリオ	-2.73%
コインベース・グローバル	-2.13%
ロビンフッド・マーケット	-2.00%

## 【MaaS戦略】

寄与度上位5銘柄	
銘柄名	寄与度
テスラ	+3.88%
ユニティ・ソフトウェア	+1.15%
アルファベット	+0.55%
アップル	+0.25%
ディア	+0.24%

寄与度下位5銘柄	
銘柄名	寄与度
ユーアイパス	-2.29%
JDロジスティクス	-1.83%
ツーシンプル・ホールディングス	-1.82%
クラトス・ディフェンス&セキュリティ・ソリューションズ	-1.80%
ニウ・テクノロジーズ	-1.75%

## 【スペース戦略】

寄与度上位5銘柄	
銘柄名	寄与度
ユニティ・ソフトウェア	+0.70%
ストラタシス	+0.48%
エルビット・システムズ	+0.40%
アルファベット	+0.29%
ロッキード・マーチン	+0.21%

寄与度下位5銘柄	
銘柄名	寄与度
クラトス・ディフェンス&セキュリティ	-2.31%
アーチャー・アビエーション	-1.78%
JDロジスティクス	-1.62%
マークフォージド・ホールディングス	-1.44%
エアロバイロメント	-1.41%

- ※ 上記は当ファンドの主要投資対象ファンドが投資する各マザーファンド（P2をご参照ください。）の銘柄別パフォーマンス寄与度分析をご参考として掲載したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。
- ※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ※ 寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。
- ※ 寄与度は、各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト（売買手数料や信託報酬など）などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、円換算済みの概算値となっています。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- （出所）日興アセットマネジメントのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

## みらいコネクトファンド

ご参考：各戦略の銘柄別パフォーマンス寄与度分析②（7月13日（設定日）-2月8日）

## 【ゲノム戦略】

寄与度上位5銘柄	
銘柄名	寄与度
バーテックス・ファーマシューティカルズ	+0.88%
ピュア・ストレージ	+0.49%
ファイザー	+0.24%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	+0.20%
コルテバ	+0.20%

寄与度下位5銘柄	
銘柄名	寄与度
インビテ	-2.47%
CRISPRセラピューティクス	-2.46%
テラドック・ヘルス	-2.33%
フェイト・セラピューティクス	-1.93%
パシフィック・バイオサイエンシズ	-1.76%

## 【ゼロ・コンタクト戦略】

寄与度上位5銘柄	
銘柄名	寄与度
モンゴDB	+0.32%
オープンドア・テクノロジーズ	+0.32%
クラウドフレア	+0.12%
Zホールディングス	+0.05%
ディスカバリー	+0.05%

寄与度下位5銘柄	
銘柄名	寄与度
ロク	-2.74%
ショップファイ	-2.71%
ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ	-2.62%
ペロトン・インタラクティブ	-2.50%
トゥイリオ	-2.06%

- ※ 上記は当ファンドの主要投資対象ファンドが投資する各マザーファンド（P2をご参照ください。）の銘柄別パフォーマンス寄与度分析をご参考として掲載したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。
- ※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ※ 寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。
- ※ 寄与度は、各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト（売買手数料や信託報酬など）などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、円換算済みの概算値となっています。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- （出所）日興アセットマネジメントのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

<当資料の取扱いに関する留意事項> を必ずお読みください。

## みらいコネクトファンド

## ファンドの投資リスク

## ＜基準価額の変動要因＞

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。  
したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

## 株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## ＜その他の留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。  
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込みが発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止・取消となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

申込	申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。	決算・分配	決算日	毎年3月12日（休業日の場合は翌営業日）です。ただし、初回決算日は2022年3月14日です。
	購入・換金申込受付不可日	申込日当日または申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日		収益分配	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。収益分配金の受取方法により、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	その他	信託期間	原則として、2021年7月13日（設定日）から2030年3月12日までとします。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。（基準価額は1万口当たりで表示していません。）		課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
換金時	換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。			
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。			
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。			

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

## みらいコネクトファンド

## ファンドの費用

## お客さまが直接的にご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に <b>3.3% (税抜3.0%) を上限</b> として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	<b>ありません。</b>

## お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	
	当該ファンド（a）	純資産総額に対して <b>年率0.946% (税抜0.86%)</b> 信託期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期間末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。
	投資対象とする投資信託証券(b) <sup>*1</sup>	純資産総額に対して年率0.913%（税込）
	実質的な負担（a+b） <sup>*2</sup>	純資産総額に対して <b>年率1.859%程度（税込）</b> ※ この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。
	その他の費用・手数料	有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\*1 ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。

\*2 ファンドが投資対象とする投資信託の信託報酬を加味した、投資者の皆さまが実質的に負担する信託報酬率になります。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]  
金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第2831号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会  
ホームページ： <https://www.soam.co.jp/>
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 [募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

商号等	加入協会		
	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	
株式会社京都銀行	登録金融機関： 近畿財務局長（登金）第10号	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第53号	○	○
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券 株式会社）	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第53号	○	○
きらぼしライフデザイン証券株式 会社	金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第3198号	○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第2938号	○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第46号	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第39号	○	○
株式会社横浜銀行	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第36号	○	○

## 当資料の取扱いに関する留意事項

◆当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。◆ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。◆投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをとまいません。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。◆投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。◆当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。◆当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。◆当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

<当資料の取扱いに関する留意事項> を必ずお読みください。